

報道関係者各位

2019年6月12日

ルーフラッグ

「ROOFLAG賃貸住宅未来展示場」モックアップ工事見学会を開催 CLTによる大屋根の一部を再現し、施工性などを検証

大東建託株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:小林克満)は、2018年11月より、東京都江東区東雲に賃貸住宅専門の情報発信施設「ROOFLAG賃貸住宅未来展示場」(以下、ルーフラッグ)を建設しています。

2019年3月から6月にかけて、本工事前に施工性などを検証するモックアップ工事が行なわれ、都市部において、CLTの大架構や、先進的かつ大規模建築物の施工現場を間近で見学できる貴重な機会として、一般社団法人日本CLT協会(本部:東京都中央区、会長:中島浩一郎)主催の見学会にて紹介されました。

■CLTモックアップ工事について

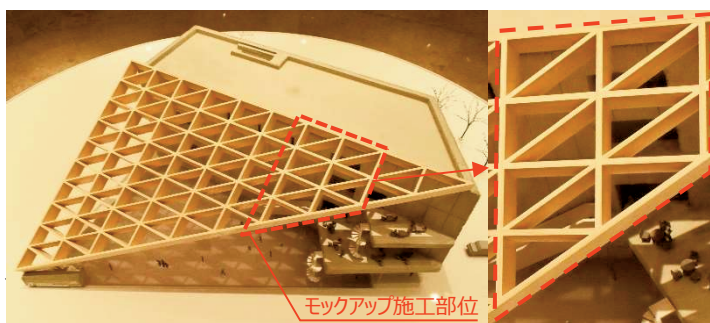
モックアップとは、一般的に外観や機能の検討・確認を目的に試作される原寸大模型のことで、ルーフラッグでは、過去に類のない大規模CLTを大架構の梁として使用することから、大屋根の一部(約10m×12m)を再現し、施工性などを検証しました。

使用するCLTパネルの材寸は最大で幅2,300mm、厚さ270mm、長さ11,800mmで、モックアップに使用したCLTパネルは解体・保管し、本工事でも使用する予定です。

5月8日、9日、14日の3日間にわたり開催された見学会には、多くの建築関係者やメディアの方にご参加いただき、「CLT架構を間近で見学できて、貴重な経験になった」など、たくさんのご意見をいただきました。



CLTモックアップ工事見学会の様子



ルーフラッグ建物模型(左)と実寸大で再現されたCLTモックアップ実物(右)

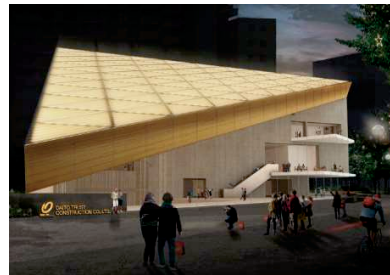


■ルーフラッグのCLT大屋根について

ルーフラッグは、CLTを大架構の梁として使った三角形の大屋根が特徴的な建物です。長辺が60mの三角形の大屋根は、CLTを格子状に組み、屋根面を波板ガラス、壁面をガラスカーテンウォールとして採光性に優れたデザインを採用し、ボックス型金物でCLT同士を接合します。使用するCLTは大屋根全体で約450㎡、サイズは、最大厚さ270mm、幅2,300mm、長さ11,800mmとなります。



■施設概要



施設名称	ルーフラッグ ROOFLAG 賃貸住宅未来展示場
所在地	東京都江東区東雲1-4
交通	東京メトロ有楽町線・東京臨海新交通臨海線(ゆりかもめ)「豊洲」駅 徒歩11分 東京臨海高速鉄道りんかい線「東雲」駅 徒歩14分
敷地面積	2,989.95㎡/904.5坪
建築面積	本体棟 1,493.55㎡ + モデル棟 約300㎡(予定)
延床面積	本体棟 3,631.02㎡ + モデル棟 約740㎡(予定)
構造・規模	鉄筋コンクリート造・一部木造、地上4階 木造部分:地上3階、RC造部分:地上4階
設計	MOUNT FUJI ARCHITECTS STUDIO 株式会社マウントフジアーキテクトスタジオ一級建築士事務所
着工	2018年11月
竣工	2020年 2月(予定)
総事業費	約90億円 (土地取得・設計・建設など)

■4つのテーマで構成されるゾーニング

ROOFLAGは、4つのゾーンで構成されており、多様化する暮らしや社会課題に向き合いながら、お客様のニーズをカタチにすべく取り組んできた創業来の当社変遷から、未来の技術への取り組みなどを体感いただけます。

1. エントランスアトリウム

吹き抜けの大空間で、研究成果の展示や文化活動などを行えるイベントスペース。

2. 研究展示ゾーン

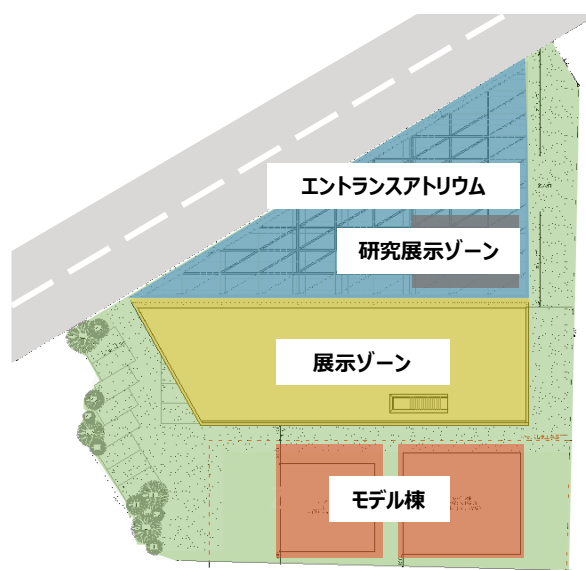
研究内容・研究成果を展示、ご紹介。

3. 展示ゾーン

- 〈1階〉安心・安全を支える建築テクノロジーや商品ラインナップ、企画展示等を展示。
- 〈2階〉賃貸事業の長期安定経営を支えるシステムや仕組み、入居者様の暮らしを支えるサービスを紹介。
- 〈3階〉各種セミナーや社員研修等を実施できるセミナールームやキッズスペース、オープンラウンジを配置。
- 〈4階〉会議室、応接室などを配置。

4. モデル棟

住宅商品の良さを体験してもらう場として、建物仕様や遮音床などを体感できる実物大の賃貸住宅。



【敷地計画イメージ】

■建設地案内図



地図データ©2019 Google

＜本件に関するお問い合わせ＞
大東建託株式会社 広報部 TEL:03-6718-9174